

# 今冬の節電へのご協力のお願い

～ 昨冬と同様の節電への取り組みを！！ ～



九州経済産業局  
九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議

平成24年11月2日、政府の今冬の電力需給対策が決定され、九州管内では「**数値目標を伴わない節電**」をお願いすることとなりました。

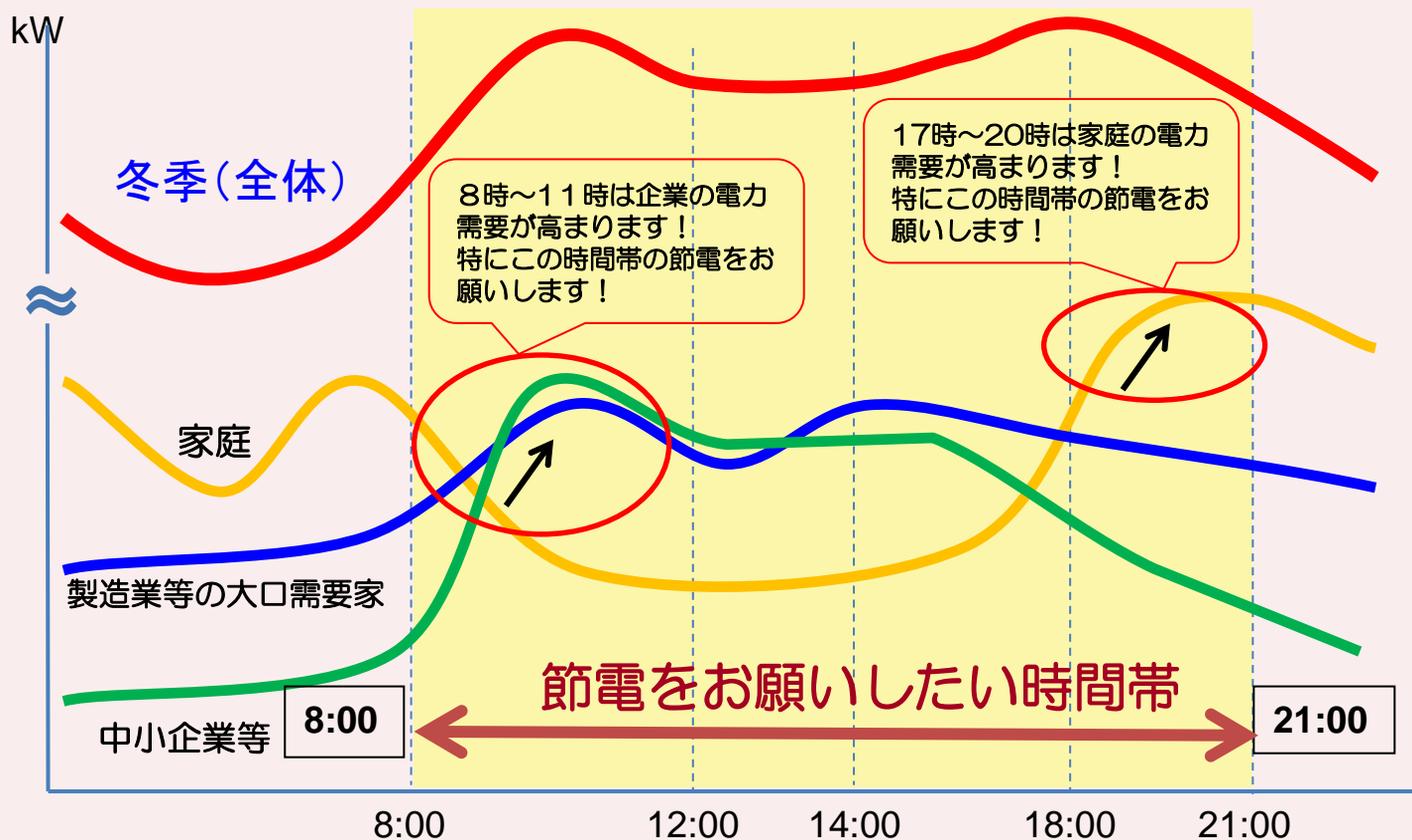
今冬の電力需給見通しは、**昨冬ご協力頂いた節電効果の実績を加味（※定着節電）した電力需給を前提**としており、火力発電所等の計画外停止が発生するリスクを踏まえると、依然として厳しい状況です。（※）九州管内では一昨年比▲4.5%を見込むつきましては、生活や経済活動等に実質的な影響が生じない範囲で、節電のご協力をお願い申し上げます。

**節電にご協力いただきたい期間・時間帯**  
平成24年12月3日(月)～平成25年3月29日(金)  
平日 8:00～21:00



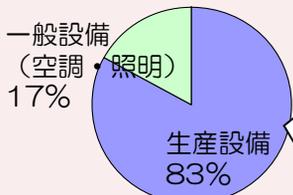
(12/31及び1/2～1/4を除く)

## 冬季平日の電力の使われ方 (イメージ)



## 事業者向け

### 製造業の場合



【ポイント】  
電力消費のうち、生産設備が占める割合が高くなっています。生産活動に影響を与えない範囲で一般設備を中心に節電をお願いします。

- 使用していないエリアは消灯を徹底 ▲3%
- 白熱灯を電球形蛍光ランプやLED照明に交換  
【節電効果】白熱灯60Wから  
①電球形蛍光ランプに交換した場合 ▲76%
- ②LED照明に交換した場合 ▲85%

- 工場内の温度を19℃に  
【節電効果】室内温度設定を3℃下げた場合 ▲27%
- 外気取入量を調整し換気用動力や熱負荷を低減  
【節約効果】換気ファンの間欠運転または停止により外気取入量を30%低減した場合 ▲34%

### オフィスビルの場合

- 執務エリアの照明を1/2程度に ▲8%
- 設定温度を19℃にする等適切な空調利用を ▲4%

### ドラッグストア (卸・小売店) の場合

- 店舗の照明を1/4程度間引き ▲5%
- 空調の設定温度を19℃に ▲8%

### 食品スーパーの場合

- 店舗の照明を1/4程度間引き ▲5%
- 業務用冷凍・冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄 ▲6%

### 宿泊施設の場合

- 客室以外の照明を1/2程度間引き ▲14%
- 比、廊下、事務室等の室内温度を19℃に ▲2%

### 学校の場合

- 教室、職員室、廊下等の照明を3割間引き ▲11%
- 体育館の照明を1/4程度間引き ▲2%

## 家庭向け

### ライフスタイルでの心がけ

- 家庭の電力需要が増える夕方以降に負荷の高い電気製品の使用が重ならないよう1日の家事の段取りを心がけましょう。
- 温湿度計をつけて、室温の管理 (20℃) を行いましょう。



### 暖房にエアコンを使用している世帯

※通常、エアコンを使用される家庭の夕方ピーク時の消費電力 (約1400W) に対する削減率の目安

- 【エアコン】重ね着をして、室温は20℃に ▲7%  
(設定温度を2℃下げた場合の効果)

- 【テレビ】画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す ▲2%

- 【炊飯器】早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存 ▲1%

### ガス・石油式暖房を使用している世帯

※通常、ガス・石油ストーブ等を使用される家庭の夕方ピーク時の消費電力 (約1000W) に対する削減率の目安

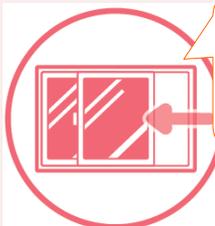
- 【照明】不要な照明をできるだけ消灯 ▲6%

- 【冷蔵庫】冷蔵庫の設定を「弱」に ▲2%

- 【待機電力】リモコンではなく、本体の主電源を切る  
使わない機器はプラグを抜く ▲2%

### ★節電時の注意

ガス・石油ストーブ等を使用される場合には以下のことに注意しましょう



ガスや石油を使うときは、窓を開けるなどして必ず換気。自動的に排気する機器は、ファンの作動音を確認。



洗濯物や布団などは、ストーブの近くに置かない

